

## 合同事例研究発表会報告（平成 28 年 2 月 10 日（水）実施）

現在、特別養護老人ホームで取組んでいる「科学的介護」について、事例を通じて振り返り、今後の取組みが更に意欲的な実践となることを目指して、『**社会福祉法人 幸真会 特別養護老人ホームたんぼぼ**』様と合同事例研究発表会を実施しました。

（参加者 55 名：義明苑及びたんぼぼ職員）

### 事例研究発表

（1）たんぼぼ 藤平康成 介護職員

「排便のサイン ～たんぼぼでの利用者の排便状態の改善について～」

（2）義明苑 白砂茂典 介護職員

「科学的介護実践 ～自立に向けて～」



発表会を終えて・・・

今回は、「科学的介護」に焦点を当てて行いましたが、合同型の発表会（研修）は、他施設の職員から刺激を受け、横のつながりができ、互いに切磋琢磨できる環境作りに一助に繋がるものでありました。それ以外のテーマについても、発表を通じてそれぞれの施設との意見交換や交流ができればと良いと考えます。また他施設における支援仕方や職員の情報共有ベクトル合わせなどについても現在抱えている課題解決の参考として大変勉強になりました。

初めての合同発表会ということで、戸惑いもありましたが、普段は違う施設で働いている職員との交流が図れ、高い視点から自分たちの支援方法を見つめ直すことができ、大変良い機会となりました。たんぼぼの職員の皆様にも会場設置や準備段階からお手伝いいただき、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。